

千葉県白井市と 友好交流協定を結びました



2

1. 協定書を取り交わし、ますますの交流を誓い合う（左から安藤議長、仁志田市長、伊澤市長、秋本議長）/2. 白井市役所前にハナモモの苗木を植樹する両市長と、白井市のマスコットキャラクター「なし坊」



1

10月26日、千葉県白井市役所で友好交流協定の調印式が行われました。白井市からは伊澤史夫市長、秋本享志市議会議長ら、伊達市からは、仁志田昇司市長、安藤喜昭市議会議長らが出席。仁志田市長は「経済や産業、農作物などを通じて市民同士の交流を深めていきたい」と述べ、伊澤市長と協定書を取り交わしました。式の後には、友好交流協定の締結を記念して、伊達市から白井市に贈ったハナモモの苗木を植樹。白井市からはサツキの苗木が贈られました。この苗木は保原本庁舎前と保原総合公園に植樹する予定です。

白井市とは、旧月舘町が平成元年以降、小中学生による相互交流を重ねてきたことで友好を深めてきました。平成25年7月には、大規模災害の発生時に相互に応援する協定を締結。今後は産業や教育、スポーツなど、さまざまな分野の交流を通じて、行政・市民間の友好関係をさらに推進していきます。

白井市とのこれまでの交流



平成元年から、旧月舘町で小中学生を対象とした「つきだて・しろいであそびね会」を実施。（写真は平成21年の様子）



平成25年7月に大規模災害時相互応援協定を締結しました。



平成26年からは伊達市のイベントに白井市がブースを出店。特産品の梨を販売しました。

白井市の概要

千葉県の北西部、都心から30kmの距離に位置する人口約6万3000人の市です。昭和54年（当時は白井町）に北総鉄道が開通したことで、人口が飛躍的に増加。平成13年には市制を施行しました。

特産品は梨で、全国でも有数の産地として知られています。千葉県内で1位の栽培面積を有し、春には梨の花が咲き誇ります。



春になると、桜を追いかけるように梨の花が咲く

